



東国分中だより

令和7年12月22日

NO.14

学校 HP

学校教育目標「夢や希望を抱き、生きる力を持った生徒の育成」

～知・徳・体の調和のとれた生徒～

<https://ichikawa-school.ed.jp/ekokubun-chu/>

東国分爽風学園

市川市立東国分中学校

校長 植木 昭貴



いろいろな風習に触れてみよう！



今年もあと少しで終わります。2025年は皆さんにとってどんな年でしたか？

私はこの一年を「挑戦の年」となるよう心掛けました。今まで触れていなかったことや長く遠ざかっていたことのいくつかチャレンジし、少しでも視野を広げたり自分を見つめ直したりすることもできたように思います。

さて、間もなく冬休みが始まります。冬休みは年末年始ということもあり、多くの風習や行事があります。これらは国や地方によりさまざまありますが、ここでは一般的なものを紹介します（由来等については諸説あります）。

○クリスマス(12月25日)

イエス・キリストの降誕祭（生まれてきたことをお祝いする日）のことで、2～4世紀の頃に始まったという説が有力視されているようです。クリスマスイブは前夜祭と捉えがちですが、キリスト教の前身にあたるといわれているユダヤ教では、日没が一日の変わり目という考えであったため、24日の日没後から25日の日没までがクリスマスという考えであったようです。現在では、クリスマスツリーを飾り、プレゼントを交換し、ごちそうを食べるなど、イベント的な存在として広く世界に定着しています。



○大掃除

新年の到来とともに幸せをもたらしてくれる「歳神様」を迎える準備として行います。寒い中での大掃除は大変ですが、普段使っている場所や物などに感謝の気持ちをもってきれいにすることで、心の中もすっきりすることでしょう。期間は12月13日（江戸時代に「すす払いの日」として定められていた日）から28日までに終わらせるとよいということです。

○大晦日(12月31日)

伝統的な行事として「除夜の鐘」（煩惱の数といわれる108回の鐘を鳴らすことで、全ての煩惱を払い、清らかな心で新年を迎える）や「二年参り・年越し参り」（年をまたいで お参りすることでご利益が2倍になるという言い伝えも）などがあります。最近では「カウントダウンイベント」も増えているようです（深夜の子供だけの外出は控えてくださいね）。家庭では「年越しそば」を食べる風習があります。そばは見た目が細くて長いことから家運長命や健康寿などにつながるといわれています。また、切れやすいことから一年の厄や苦勞を断ち切るという意味もあるようです。



○元日(元旦)

「元日」となる1月1日の朝もしくは午前中までのことを「元旦」と言います。おせちには「縁起物」の意味があり、それぞれの料理に五穀豊穡、無病息災、子孫繁栄などを願う思いが込められています。「お年玉」は、元々は「御歳魂」と言われ、歳神様を迎えるためにお供えした鏡餅を家族に分け与えていたものが現在の金品に代わったとされています。昔、正月によく行われた遊びとして、「福笑い」、「かるた」、「凧あげ」、「けん玉」、「羽根つき」、「コマ回し」などがありました。現在では「旅行」や「爆買い」をする人も増えているようです。「一富士、二鷹、三茄子」が良いといわれる初夢は、1日夜から2日にかけて初めて見る夢という説が一般的です。

他にもいろいろな風習があります。ちなみに本日(12/22)は「冬至」です。ご家庭でかぼちゃを食べたり、柚子湯につかったりという人もいるのではないのでしょうか。これから始まる13日間の冬休み、部活動や受験勉強などそれぞれの予定があると思いますが、ぜひ時間を作っていろいろな風習に触れてみてください。そして年末年始は家族との時間を大切にしてほしいと思います。来たる2026年は「午(馬)年」です。馬は力強く進むことから「運気を上昇させてくれる動物」という言い伝えがあります。皆さんにとって来年が飛躍の年となりますように。